



久留米大学

御井図書館ニュース

No.81 2012年12月1日発行

人として生きるために

商学部長 杉本英二

今年の夏は、物質に重さを与える素粒子が発見されたことがニュースになった。これも知りたいあれも知りたいと、最近はいろいろな本を買って来る。つまり雑学である。しかし読む時間と努力が足りなくて、机の上に重なって久しい。

私の最初の本は幼少期にクリスマスプレゼントとしてもらった偉人伝の絵本だった。昭和20年代の乏しい収入の中から母が工面して買ってくれたのだ。小学校4年生の頃には、学校の図書をほぼ全部読み切った。特に理科系の本は何回も借り暗記し、科学者や技術者を夢見る理系男子になった。中学時代には、山岡荘八の信長、秀吉、家康などに凝ったが、リーダーシップについて学んだと思う。高校時代にはジョージ・ガモフの本を読んで天体物理学に興味を持ち、今日でも素粒子や宇宙など珍奇なことに興味を持つきっかけになっている。しかし父親の影響を受けてドラッカーの経営書を読んだことから、進学先としてうっかり経営工学を選択してしまった。だが電気や機械の技術者を諦めた訳ではなかった。大学時代は、水俣、阿賀野川などを代表する公害の時代で、レイチェル・カールソン「沈黙の春」、石牟礼道子「苦海浄土わが水俣病」には衝撃を受けた。公害を生み出す企業と科学に大きな疑問を感じて、武谷三男「科学と技術」や星野芳郎「日本の技術者」などを読まざるを得なかった。権力と対決する科学思想・技術者運動の論理に共感し、科学技術が科学者や技術者を通して社会的存在であることを学んだ。もともと学生時代は世の中の矛盾に遭遇する年齢で、私はそうした矛盾に立ち向かえるような知識や考え方の基本的なことを読書によって得ようとした。こうして社会学という分野があるのを知って文系男子になった。

私は、大学を卒業してコンピュータ企業に就職し、生産管理部門の技術者となったが、コンピュータの理解不足を強く感じたので大学院に進学することにした。大学院で指導を受けた先生は実利的だけど観念論的な考えが強い先生で、唯物史観だった私に大きな影響を与えた。大学院では、機械と異なる原理の生理学を教養科目として選んだことから、遺伝学、進化論などの生物から人類への興味は今でも健在である。そして今、学生時代に買っていたフランク「夜と霧」の心理の世界を行き交っている。学生時代には読んでも分からなかったものが今では納得できるのだ。これまでを振り返ると、雑学ではあるが、仕事や義務で読むのではなく、人として生きるために読書してきたと実感する。

「御井図書館の空間感覚」

大学院比較文化研究科 サイ ショウ コウ
蔡 尚 鎬

普通、皆さんが御井図書館へ行く目的を考えると、資料を探すとか、本を読むとか、勉強するなどのイメージが浮かんでくる。

私は図書館の空間に対して興味があり、特に図書館本館内部の空間構造に対して興味津々であった。まず、御井図書館の入口に入ると、目に飛んでくるものは中央の吹抜けである。これは御井図書館の要と考えられる。何故かと言うと、この1階から2階を貫通する吹抜けによって、図書館の内部の空間構造が広くなるという感覚が得られる。もしこの吹抜けがなければ、1階の天井から迫ってくる圧迫感は利用者に対し、心理的な重圧感がかかってくる。逆に吹抜けがあれば、利用者にとって長い時間図書館に滞在して利用できる心理的な開放感が高まってくる。また、正門のゲートに近く2階の天井において、2列の窓ガラスも配置されている。これもよい役割を果たしている。昼の時間帯は特に重要であり、外部の日差しがこの2列の窓ガラスを通して図書館の内部に入ってくる。この日差しが室内の明るさをもたらし、自然の光によって図書館内外が一体感される。

興味を持っているもう一つのことは窓から外を見る風景である。御井図書館の1階と2階の窓際には、机と椅子が置かれている。図書館の西側には多くのキャンパス内の建物が建っているため、キャンパスの風景が遮られるが、東と北の方向の遠望はとてもよい。東側において、800と1000号館の校舎が秋の鮮やかな色彩を持つ高良山の風景の一部を隠しており、少し残念と思う。しかしながら、眺める角度を変えると、高良山山頂近くに建てられている高良大社が見えてくる。また、東側の他のキャンパスの建物は高く立てられていないため、青空も見通す。一方、北側の景色は最高によいと思っている。特に筑後川流域と筑紫平野の一部を眺望でき、夕方には、太陽の微光が残されている空、きらきら点在する地上のライト、共に筑紫平野の風景を織っている。

御井図書館で学業に勤しんでいる私は、疲れたときにしばし図書館の窓から筑紫平野を眺められる。それによって、重圧に迫られた心身が癒される。このように、私にとって御井図書館は、心身が癒される空間でもある。



2013年から購読中止、廃刊等の雑誌タイトル

〈購読中止〉

誌 名	出 版 者
Archives of environmental & occupational health : an international journal	Heldref Publications
Attention, perception, & psychophysics : AP&P	Psychonomic Society
Behavior modification	Sage
Developmental review : DR	Academic Press
Human development	S. Karger
Human development	Published by Le Jacq Pub. Inc. for the Jesuit Educational Center for Human Development
Indonesia	[s.n.]
Journal du droit international	Marchal & Godde
Psychoanalytic inquiry	International Universities Press
Revue d'histoire littéraire de la France	A. Colin
中国語ジャーナル	アルク
のらのら : noranora	農山漁村文化協会
ノーマライゼーション : 障害者の福祉	日本障害者リハビリテーション協会
母子保健情報	母子愛育会

〈休・廃刊等〉

誌 名	出 版 者
韓国史市民講座	一潮閣
現代教育科学	明治図書出版
こどもと : 幼児の指導	学習研究社
月刊自治フォーラム : 地方自治を語るみんなの広場	第一法規出版
スペイン学	行路社

東洋學報	東洋協會調査部
物価指数季報	日本銀行調査統計局
マレーシアレポート	国際経済労働研究所
文部科学時報	ぎょうせい

<誌名変更>

誌名	⇒ 変更後の誌名
月刊日本語	日本語教育ジャーナル
公共選択の研究	公共選択
資源環境対策	日中環境産業
Business week	Bloomberg Businessweek Global Edition
The Ecologist : journal of the post industrial age	* Resurgence & Ecologist
Seeing and perceiving	Multisensory Research

*"The Ecologist"は Online Only だったが、"Resurgence & Ecologist"は冊子

<ASIA 版へ変更>

誌名	出版者
Fortune	Time
Time : the weekly newsmagazine Asia ed	Time

<冊子から Online Only へ変更>

誌名	出版者
Journal of applied behavior analysis	Society for the Experimental Analysis of Behavior
Political science quarterly	Ginn and Co.
Sociology of education abstracts	Information for Education

平成24年度 中学生職場体験

10月24日（水）～25日（木）の2日間久留米市立良山中学校2名が御井図書館で整理業務およびカウンター業務を行い、その職場体験の感想等を書いていただきました。

職場体験を通じて～楽しかったこと、難しかったこと

- *ドジッたりして迷惑をかけたのが申し訳ないです。
- *和雑誌などを並べる時に、アルファベット順にするのが大変でした。
- *本を並べるのも慣れて来ると、早く出来るようになり楽しかったです。
- *想像していたよりはるかに見つかった。
- *2日間図書館の仕事をしてみて、図書館内の広さにとても驚きました。
- *こまごましたのが好きなので、装備するのが楽しかったです。
- *図書館には、よく行ったりするけど、どのような仕事をしているのかを知らなかったなので、知ることが出来て良かったな、と思いました。
- *新聞が置いてあると知った時は、誰が読むのだろうかと思いました。
- *カウンターで貸出・返却をしたとき何と言えいいのか分からなくなったりして大変でした。
- *この経験を生かしてこれから頑張っていきたいです。

2日間お疲れさまでした。

図書館利用状況 2012 年度

区 分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合 計
開館日数		27	28	30	31	30	28	31	27	232
入館者数	対前年同月比	-2,575	79	-1,610	2,119	-1,381	-1,277	575	-852	-4,922
	学内者	12,881	16,529	15,462	24,637	10,235	7,747	16,682	15,530	119,703
	対前年同月比	-711	-585	-828	-706	-508	-531	-517	-519	-4,905
	その他学外者	1,474	1,960	1,928	1,575	1,410	1,259	1,886	1,545	13,037
地域住民	対前年同月比	-5	6	3	8	10	10	6	2	40
登録者数	地域住民	43	35	36	38	28	29	25	20	254
貸出冊数 (学 生)	対前年同月比	-415	3	-188	-356	-108	-198	12	-321	-1,571
	全 体	1,583	2,781	2,582	2,728	1,414	1,529	2,895	3,010	18,522
	対前年同月比	-95	-11	-66	-54	-51	-47	-32	-308	-664
	内、夜間	282	623	632	763	222	229	641	660	4,052
	対前年同月比	-2	-2	-18	-64	36	-12	-69	-100	-231
	内、土・日曜	154	190	206	233	200	161	181	159	1,484
	一人当たりの貸出数	0.26	0.46	0.43	0.45	0.23	0.25	0.48	0.50	3.07
貸出冊数 (教職員)	対前年同月比	169	34	-59	-71	-140	-96	71	158	66
	全 体	512	348	280	248	257	205	381	365	2,596
	対前年同月比	-10	-35	-12	-50	-35	-4	5	12	-129
	内、夜間	51	70	71	38	29	30	98	68	455
	対前年同月比	-18	-8	-14	-11	-63	19	-16	-14	-125
	内、土・日曜	12	15	26	11	48	38	11	12	173
貸出冊数 (その他 学外者)	対前年同月比	-35	-37	32	-6	17	47	31	-26	23
	全 体	244	269	277	143	178	256	292	233	1,892
	対前年同月比	-22	4	16	-26	14	58	-9	26	61
	内、夜間	67	98	84	56	18	74	110	113	620
	対前年同月比	-18	-24	28	33	18	38	27	-40	62
	内、土・日曜	92	83	91	64	74	117	95	52	668
AVライブラリー 利用件数	対前年同月比	-5	-10	0	0	1	-5	-10	-1	-30
	学 生	0	1	8	2	5	0	3	5	24
	対前年同月比	10	18	-25	-4	-1	-2	-11	-10	-25
	教職員	24	46	14	22	2	9	27	20	164
	対前年同月比	2	1	-1	1	0	-1	0	-3	-1
	その他学外者	2	1	0	3	0	0	0	0	6

相互利用	対前年同月比	-3	-8	15	19	3	24	8	50	108
	学 生	45	63	50	37	35	44	83	85	442
(文献複写)	対前年同月比	-26	0	42	53	33	-9	4	-45	52
申込件数	教職員	21	31	64	75	63	21	40	28	343
	対前年同月比	0	0	0	0	0	0	7	0	7
	その他学外者	0	0	0	0	0	0	7	0	7
相互利用	対前年同月比	-4	1	0	6	-3	-1	-1	-2	-4
	学 生	2	2	2	6	0	0	3	2	17
(現物貸借)	対前年同月比	0	-6	26	-9	-8	6	8	4	21
申込件数	教職員	18	9	29	11	12	21	33	13	146
	対前年同月比	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他学外者	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<貸出冊数についての注記>

1. 教職員の貸出には、専任教員の研究室貸出分を含まない。
2. ”夜間”とは、平日の 17:00～21:00 の夜間開館時間を指す。
* なお、4月 2 日～4月 11 日、8月 10 日～9月 20 日、12月 25 日～12月 28 日、
2月 1 日～3月 30 日の期間は夜間開館を行っていない。
3. 地域住民への貸出は、7月 17 日～8月 9 日の期間は停止している。
4. 学生一人当たりの貸し出し数は、平成 24 年 5 月 1 日現在の御井キャンパスの学生数で算出。

編集・発行 久留米大学御井図書館

〒839-8502 久留米市御井町 1635

TEL (0942) 44-4015

FAX (0942) 43-0348

<http://www.mii.kurume-u.ac.jp/miilib/>

